

「寒冷地におけるコンクリート開水路の診断と補修に関する報告会」の開催報告

寒地農業基盤研究グループ

寒地農業基盤研究グループは、平成23年3月3日に寒地土木研究所講堂において、「寒冷地におけるコンクリート開水路の診断と補修に関する報告会」を開催いたしました。

本報告会は、重点プロジェクト研究課題「積雪寒冷地における農業水利施設の送配水機能の改善と構造機能の保全に関する研究」を構成する個別研究課題の1つである「農業水利施設の構造機能の安定性と耐久性向上技術の開発」の一環として開催したものです。本報告会は、北海道内の農業水利施設ストックマネジメントに関係のある行政担当者および寒地土木研究所の農業工学系分野・コンクリート材料系分野の研究職員が集まり、寒冷地の農業水利施設ストックマネジメント技術の向上を目指して、機能診断技術や補修技術等についての研究情報の共有と意見交換を行う場として、平成20年度から毎年3月に開催しているものです。

今年度の報告会には、北海道開発局・北海道庁・当研究所から77名の参加がありました。

報告会の概要は下表のとおりです。まず、国立大学法人鳥取大学農学部生物資源環境学科の緒方英彦准教

授から、コンクリート開水路の凍害劣化に関する最近の研究事例と寒冷地のコンクリート開水路の機能保全に関するご講演をいただきました。次に、北海道開発局旭川開発建設部および函館開発建設部から、ストックマネジメントの取り組み事例の報告をいただきました。最後に、寒地農業基盤研究グループ水利基盤チームから、研究成果の報告をいたしました。

報告会では、事例・研究報告に関連した質疑のやりとりと活発な意見交換が行われ、積雪寒冷条件の厳しい自然環境下で供用されている農業水利施設に対する診断と補修・改修技術への関心の高さが伺えました。

寒地農業基盤研究グループ水利基盤チームでは平成23年度以降も、本報告会のように研究課題の途中経過あるいは成果の速報を盛りこみ、寒冷地で農業水利施設ストックマネジメントに携わっておられる方々を対象とした技術報告会等の開催を予定しています。

報告会の開催にあたり多大のご協力をいただいている、北海道開発局農業水産部農業計画課をはじめとする関係機関の皆様へ厚く御礼いたします。

(文責：小野寺 康浩)

表 報告会の開催概要

「寒冷地におけるコンクリート開水路の診断と補修に関する報告会」	
日時：平成23年3月3日（木） 9時～12時	場所：(独) 土木研究所 寒地土木研究所講堂
実施：(独) 土木研究所 寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ	
【講演】	
1. 「水利施設であるRC開水路の凍害劣化進行過程と機能保全」	鳥取大学 農学部 生物資源環境学科 国際環境科学講座 緒方 英彦 氏
【ストックマネジメントの取り組みによる寒冷地の開水路補修試験施工の事例報告】	
2. 「コンクリート開水路の凍害対策補修工法の試験施工とモニタリング」	北海道開発局 旭川開発建設部 土地改良情報対策官付 今野 義博 氏
3. 「コンクリート水路橋の表面被覆工法の試験施工とモニタリング」	北海道開発局 函館開発建設部 農業開発課 古本麻衣子 氏
【寒冷地の開水路の診断と補修に関する研究報告】	
4. 「寒冷地におけるコンクリート開水路の凍害劣化と補修工法に関する試験研究」	(独)土木研究所 寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ 水利基盤チーム 佐藤 智
5. 全体討論	